

ニユー・ス・済生

THE NEWS SAISEI



発行所

社会福祉法人 済生会
東京都港区三田1-4-28 三田国際ビルディング21F 〒108-0073
電話 03-3454-3311
FAX 03-3454-5576
編集兼発行人 炭谷 茂

https://www.saiseikai.or.jp/

一丸となって困難を乗り越え、新たな道を切り拓こう

新年明けましておめでとうございます。総裁秋篠宮皇嗣殿下のもと、潮谷義子新会長を迎え、皆様とともに、新しい年を迎えることができ、誠にありがとうございます。

新年明けましておめでとうございます。総裁秋篠宮皇嗣殿下のもと、潮谷義子新会長を迎え、皆様とともに、新しい年を迎えることができ、誠にありがとうございます。

新年のご挨拶



理事長 炭谷 茂

今年度上半期の病院の経営状況を見ると、収入は前年度から増収しているものの、原油価格やエネルギー価格の高騰に伴う材料費、水道光熱費の増加、最低賃金引き上げの影響等により人件費、委託費が増加しており、病院経営は厳しさを増しています。コロナ関連補助金により、サービス活動増減差額は何とか黒字

維持しているものの、補助金を除けば、前年度より赤字が増大しています。このため、病院においては、集患対策を強化しつつ、コロナ禍で疲弊している職員の業務効率化を図り、生産性を上げていくことが重要となります。老健や特養でも費用の増加等のため、収支が悪化しており、経営改善が急務です。本会は、支部未設置県

を維持しているものの、補助金を除けば、前年度より赤字が増大しています。このため、病院においては、集患対策を強化しつつ、コロナ禍で疲弊している職員の業務効率化を図り、生産性を上げていくことが重要となります。老健や特養でも費用の増加等のため、収支が悪化しており、経営改善が急務です。本会は、支部未設置県

を維持しているものの、補助金を除けば、前年度より赤字が増大しています。このため、病院においては、集患対策を強化しつつ、コロナ禍で疲弊している職員の業務効率化を図り、生産性を上げていくことが重要となります。老健や特養でも費用の増加等のため、収支が悪化しており、経営改善が急務です。本会は、支部未設置県

高松宮記念基金にご協力ください

令和4年1月～11月分実績

◎本会会員加入状況	40,603人	80.8%
	45,581口	9,119万円
◎外部会員加入状況		
◎一時寄付状況	20件	51万円
(内、自販機関係)		30万円
◎募金箱		32万円

皇后陛下お誕生日 御下賜品8施設に
皇后陛下は12月9日、59歳のお誕生日を迎えられた。済生会の老人福祉施設に入居中の方々にお配りするよう、手ぬぐいをいただき、8カ所の施設に配布した。

ハイブリッドで39人

支部長会議

令和4年度支部長会議が12月8日、本部で会場とWEBのハイブリッド方式で開催し、39人が出席した。

新任支部長の紹介の後、炭谷理事長が基本説明。ウイズコロナへ国が方針転換する中、感染対策をした上での経済社会活動の活性化に向け、令和4年度以降の課題と今後の基本方向を解説した。松原理事が総研DPCについて説明した。

ユニクロが衣類700着寄贈 本会の乳児院、児童養護施設へ



済生会と社会貢献活動を行なっているユニクロが、ベビー&キッズ用の衣類サンプル品を乳児院と児童養護施設に寄贈。1施設、乳児院7施設にベビー&キッズ用品、秋冬物の衣類各50着が入ったセットが児童養護施設に寄贈された。

冬の衣類各50着が入ったセットが児童養護施設に寄贈された。1施設、乳児院7施設にベビー&キッズ用品、秋冬物の衣類各50着が入ったセットが児童養護施設に寄贈された。

務説明が担当室長・課長から行なわれた。
①第3期中期事業計画
②外国人介護人材(看護助手・介護助手) ③情報セキュリティ対策 ④経理事務担当者的人事異動に関する基準の運用の弾力化 ⑤本会施設の経営状況(病院・老健・特養) ⑥新型コロナウイルス感染症に関する本会の対応の内部監査状況と本会コンプライアンスの強化 (総務課)

課題の改善方策などを支部間で情報共有するもので、昭和48年から実施している。
愛知県済生会の加藤欽一支部長と済生会本部の渡辺世祐・総務部次長がそれぞれ挨拶。「光熱費の値上がり等の影響」DXの取り組み「支部内拠点の経営のために」の議題について活発な意見交換が行なわれた。

光熱費の値上がりでは、電気代が前年度に比べ2倍となっている施設があること、DXではWEB問診システムの導入などが報告された。
来年度の開催は、富山県済生会に決まった。(愛知県済生会 支部 事務局 和栗慎司)



愛知 名古屋で45人

支部事務責任者会議

令和4年度全国済生会支部事務責任者会議が11月25日、名古屋マリオットアソシアホテルで開かれ、支部長、常務理事、事務局長など支部の役員45人が参加した。

この会議は支部が施設の経営の安定を図るため、贈られた。寄贈品は、12月6日、(東京)中央病院附属乳児院で開かれた引渡式で、ユニクロ済生会中央病院店の山村朋子店長が東京都済生会の杉村栄一支部長に授与。衣服を並べ、ユニクロのスタッフが店員役になり、子どもたちが気に入った服を選ぶ買い物イベントも行なわれた。来春には春・夏用衣類の寄贈も予定されている。

省エネ推進会議が12月12日、本部で開かれた。平成21年の省エネ法改正に伴い、法人全体で省エネを推進するため毎年開催し、今回で12回目。オンラインで実施され112施設から施設管理担当者など116人が出席した。

済生会本部の林紀次・事業部次長が開会挨拶。本部総合戦略課が本会の省エネとSDGsの取り組みを報告した。

ユニクロは令和4年3月、国内初の医療施設内店舗として済生会中央病院内にユニクロ中央病院店をオープン。(北海道)小樽病院や(愛媛)今治病院で、済生会の「ソーシャルインクルージョン」ユニクロの「Life Wear」を融合した取り組みも実施している。(総合戦略課)

梅園明名院長が逝去
(栃木)宇都宮病院
都宮病院の梅園明名院長が11月26日、逝去された。94歳だった。葬儀は宇都宮市のはまっ斎苑で合同葬にてしめやかに執り行なわれた。
梅園氏は、昭和28年に慶應義塾大学医学部を卒業し、36年に宇都宮病院

54年に副院長、56年に県救命救急センター所長、平成4年院長兼付属看護専門学校校長に就任。11年まで務めた後、同名舎院長。8年から済生会理事、13年から26年まで済生会監事。
令和4年済生会創立110周年特別表彰を受賞された。
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

- 茨城県済生会 前田武守殿 100万円 (神栖済生会病院へ)
- 福井県済生会 日光産業株式会社殿 100万円 (福井県済生会病院へ)
- 寄贈
- 埼玉県済生会 崎玉県済生会 副会長 並木正年 11・18 委嘱 滋賀県済生会 副会長 大杉住子 12・1 に入職。

地域包括ケア連携士研修 本会独自の動画教材駆使し



第5回済生会地域包括ケア連携士養成研修会が10月11日に行なわれ、MSWや看護師、福祉施設の相談員等70人が受講した。

本研修を開くことができたのは、コロナ禍の2年間、済生会本部では施設の先駆的な取り組みを紹介する連携士養成のための動画コンテンツやテキストをオリジナルで制作。それをもとに研修はeラーニングの事前学習(10月3日～11月11日)、オンライン研修(11月15～16日)、2班に分けて

の対面研修(11月22、29日)と3部構成で行なった。

済生会地域包括ケア連携士は本会独自の資格で、地域包括ケアを中核で進めていく役割を担っている。研修の内容は、高齢・障害・児童・生活困窮者など各分野における連携・支援や地域貢献、ICF(国際生活機能分類)、職種間連携と多岐にわたった。

受講者からは、「eラーニングの内容が充実している。他の職員とも共有したい」「これからは院外に出て地域と連携したいと感じた」といった意見が寄せられた。

受講者は今後レポートを提出、審査を経て合格すると連携士の資格が得られる。今回で計407人の連携士が誕生する予定。



動画とテキスト制作は、地域共生社会に資する人材育成に寄与するとして日本財団の助成事業の対象となっている。

(社会福祉・地域包括ケア課)

指導医ワークショップ 大阪・梅田で対面27人

厚生省の認定を受けて行なう研修で臨床研修指導医の資格を得ることが出来る「第48回全国済生会臨床研修指導医のためのワークショップ」が11月26～27日、大阪市のクロス・ウェーブ梅田で開催され、15病院から27人が参加した。本年度2回目の対面開催となった。

開催責任者の衛藤正雄・長崎病院院長と、チーフタスクフォースの風巻拓・横浜市東部病院救急科医長兼スキルトレーニング室長が研修を進行し、7人のタスクフォースが受講者をサポートした。事務局は開催担当の長崎病院と次回以降担当する水戸済生会総合病院、(大阪)富田林病院と済生会本部が務めた。

研修はeラーニングによる事前学習を経て当日は臨床研修プログラムの立案、目標設定、研修方法(方略)、評価など指導医に求められる知識と技術をグループワークで学んだ。

受講者は「学んだことを実践で生かしたい」「タスクの先生の丁寧なサポートで理解を深められた」と評価した。

同ワークショップは平成18年に第1回を開催。これまでの修了者は1444人に達している。

(事業推進課)

特養潮光園が移転新築 和歌山、医療ケア迅速に

和歌山県済生会が有田周辺広域圏事務組合(有田市、湯浅町、広川町、有田川町)から運営を受託している特養潮光園が

12月1日に移転新築した。潮光園はこれまで有田病院から直線で1・6キロ、車で約10分だったが、移転新築により同病院か

ら600メートルの距離となり入居者等の急変にも迅速に対応できるようになった。

新築物は、鉄筋コンクリート造3階建て延床面積3830平方メートル。複合型施設で、定員は特養ユニット型36人・多床室54人、短期入所ユニット型4人の合計94人。ユニット型の導入で個人のプライバシー保護や家庭的雰囲気の中でのご共同生活が可能になる。

浦崎弘之施設長は職員を前に「歴史ある施設として以前にも増して質の高い福祉サービスの提供を目指し、『あなたも笑顔でわたしも笑顔』の施設スローガンの下、初心を忘れることなく、地域から選ばれる施設作りに努めてまいります」と有田地域の福祉サービスの向上に向けて、決意を述べた。



(有田病院 済生記者 大向伸正)

なでしこの写真

令和5年カレンダー 大越さん・松本さん受賞

令和5年済生会カレンダーのなでしこ写真の入選が決まった。

1度募集。66人の応募の中から、(茨城)龍ヶ崎済生会病院・嵯原かおり氏のご家族・大越久雄さん



2023年上期に掲載の大越久雄さん(茨城・龍ヶ崎済生会病院の職員家族)

ん(上期)と(三重)松阪総合病院の看護師・松本栄子さん(下期)の作品が選ばれた。

2人には記念の図書カード(5万円分)を贈呈された。



2023年下期に掲載の松本栄子さん(三重・松阪総合病院看護師)

「あした」は、ナニイロ?

鹿島のしごと。
それは「あした」をつくること。
人と自然と向き合って、
よりよい毎日をつないでいくこと。
暮らしを描く、ものづくり。
無限の創造力で、彩り豊かな未来へ。

100年をつくる会社
鹿島

いついかなる時も、 いちばんそばに。

安心と安全で、社会を支える。
それが1879年から変わらない、私たちの約束です。
万が一に遭った時の「いざ」はもちろん、
新しく挑戦する時の「いざ」まで、「いついかなる時も」頼りになりたい。
目指すのは、お客さまを最もよく知り、「いちばんそばに」寄り添う存在です。
だからこそ私たちは、もっと一人ひとりに向き合います。
人とデジタルの力を合わせ、リスクの対応だけでなく、リスクの予測・
予防を通じて、「いついかなる時も」お役に立ち続けます。
リスクを知り尽くしたプロフェッショナルとして、
人生のあらゆる「いざ」を支える存在へ。
いついかなる時も、いちばんそばに。
東京海上日動の新しい決意です。

To Be a Good Company
東京海上日動